

会議結果報告書

令和5年9月7日

会議の名称	令和5年度第3回志木市児童福祉審議会
開催日時	令和5年9月7日（木）午後1時30分～2時00分
開催場所	市役所 大会議室3-3
出席委員	佐藤聡子会長、大熊啓太副会長、磯真砂子委員、志村亜希子委員、中村和子委員、高橋篤子委員、中村勝義委員、藤井加奈恵委員、細田大二郎委員 (計9人)
欠席委員	白川美津江委員、阿部望委員、浅見智子委員 (計3人)
説明員職氏名	清水子ども支援課副課長 (計1人)
議題概要	1 開会 2 議題 第3期子ども・子育て支援事業計画のアンケート調査について 3 その他 4 閉会
結果	審議内容の記録のとおり (傍聴者なし)
事務局職員	近藤子ども・健康部長、飯田子ども支援課長、杉田保育課長、清水子ども支援課副課長、大野健康増進センター所長、金澤健康増進センター副所長、平間子ども支援課主査、松永子ども支援課主任、ジャパン総研

審 議 内 容 の 記 録

1 開会

佐藤会長が開会を告げる。

志木市情報公開条例第5条第1項により市の附属機関の会議は原則公開であると規定されているため、本審議会は公開の対象となる旨の説明を行った。

2 議題

第3期子ども・子育て支援事業計画のアンケート調査について

アンケート調査に対する主な意見に対する市の考え方等の説明を事務局が行った。

委員：小学生の生活実態調査において、「スクールカウンセラー」の表記を「学校の相談室の相談員」に変更するとの説明であったが、一部「スクールカウンセラー」の表記がある。

事務局：再度、表記を確認する。

事務局：子育て支援アンケートに関しては、第2回児童福祉審議会で説明した形式で郵送する。回答方法については、アンケート用紙による回答、WEBによる回答がある。

委員：子育て支援の就学前のアンケートにおいて、子どもの生年月を西暦で書くことになっているが、西暦と和暦の両方が印字されていると回答しやすいのではないかと。

また、「平日に定期的にご利用している教育・保育の事業について、現在どのくらいご利用しているか」についての設問に、「希望としてはどのくらいご利用したいですか」とあるが、選択肢にある保育園において、保護者の希望が通らないことがある印象を受けるのではないだろうか。回答者は、「希望としては」という表現を理解しづらいと思われる。また、「現状のままでもよい」という選択肢があるといいのではないかと。

さらに、子育て支援の小学生のアンケートに、「児童センターに対して何か要望はありますか」とあるが、子どもが親に確認してから答えるのか。最後に、「児童センターを今後も利用したいと思いますか」との設問について、子どもの気持ちを聞いて回答するのか、親の意見で回答したらいいのか、分かりづらい。

ジャパン総研：和暦と西暦を照合できるようにして印字することは、難しい。分かりやすく表記したい。

事務局：平日に定期的にご利用している教育・保育の事業の利用について、「希望」

の部分は、「現在は何時から何時まで利用しているが、希望としてはもう少し長く預けたい」などを回答してほしい。

小学生アンケートの「児童センターについて」の設問は、「お子さん」が主語となる。

ジャパン総研：子育て支援アンケートの目的が、保育・教育のニーズを保護者に聞くという大きな狙いがある調査のため、どの設問も親が子どもを預けたいと思っているかどうかという視点での設定になっている。児童センターについては、親の視点で子どもにどのような居場所にしてほしいかという聞き方になっているが、子どもの意見を反映させたいと考えている。

事務局：現在、志木地区児童センター整備基本計画検討委員会が設置されているが、児童センターの利用希望等について、市民の皆様のご意見を伺うため、今回のアンケートに設問を設けた。そのため、保護者の目線と子どもの目線、どちらからの意見もいただきたいと考えている。

会 長：事務局からの説明のとおり、アンケートの内容について修正がある場合は、本審議会の代表である会長一任という形によろしいか。

(異議なし)

3 その他

次回の審議会は、令和6年2月頃に開催予定である。

4 閉会

佐藤会長が閉会を告げる。